

## 実効性のある活動を目指して

今年度のコミュニティ・スクールは「実効性のある活動を展開していくこと」をねらいとしました。実効性のある最初の取組として、7月下旬に、「下校時の街頭指導」と「校内の消毒作業」を保護者や地域の方に協力をいただいていた行いました。今後もコミュニティ・スクールを活用して、協力していただける人員を増やしたり、活動場所の範囲を広げたりしながら、授業等の協力や見守り隊などの充実を図っていきます。

## コミュニティ・スクール先進地域の実践事例

今後、様々な活動を展開していく上で、コミュニティ・スクール先進地域の実践事例を参考にすることが重要です。今回は、南幌町・上川町・東川町の昨年度の実践事例をご紹介します。

### ◆南幌町◆

地域学校協働本部が中心となり、生涯学習サポーターや関係団体の協力のもと、学校支援に取り組んでいる。学校運営協議会では、学校と地域が求める子どもたちの姿を共有し、地域に支援してほしいこと、そしてどのような取り組みができるのかについて熟議を行った。さらに、学校と地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちの学習活動を支援する体制を充実させるための地域人材の発掘に取り組んだ。

- ・放課後に地域の方が講師になって工作や絵本の読み聞かせ、ミニバレーなど様々な体験学習を行ったり、英語の堪能な地域の方に協力をいただいて、「イングリッシュトライアル」という英会話に挑戦する授業などを行った。
- ・地域の人から学ぶ機会が充実し、児童・生徒の興味関心を一層高める機会となった。



### ◆上川町◆

学校運営協議会で児童・生徒の現状について共有し、地域・家庭・学校が力を合わせて子どもたちを育てていくにはどのような支援が必要なのか意見交流を行った。委員からは「学校や教員の負担を軽減できないか」などの意見が出された。

- ・熟議での意見に基づき、学校の花壇整備とグラウンドの草むしりを実施した。
- ・社会福祉協議会と連携を図ることで、高齢者を中心とした多くの地域住民に学校支援事業への協力をいただくとともに、普段学校と関わる機会が少ない世代と子どもたちの交流が生まれた。

### ◆東川町◆

東川小学校の校舎に隣接して作られた畑や水田、果樹園を町内全ての児童・生徒が農業について学んだり体験したりする場として活用できないかという意見があり、学校運営協議会で熟議を行って準備を進めた。

- ・小・中学生が町内の農業関係者のレクチャーを受けながら、畑では大豆やジャガイモなど15種類以上の作物づくりを、水田では、「田んぼの学校」として、田植えや稲刈りの体験を実施した。また、収穫した食材は、給食や放課後児童クラブのおやつなどで提供した。



【参考】北海道教育委員会 HP <http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/kyoikushienCSjireisyuu.htm>

## 岩内町の今後の動き

- ①岩内町は、今後様々な活動を展開していくにあたり、岩内町及び各学校のホームページを用いて、ボランティアの募集を行っていく予定です。
- ②実際に実施した活動は、「コミュニティ・スクール通信」や各ホームページ等に掲載していく予定です。